

後向き観察研究

「皮下埋め込み型中心静脈ポート留置後合併症の後方視的検討」

情報公開文書

患者さんへ

「皮下埋め込み型中心静脈ポート留置後合併症の
後方視的検討」

についてのご説明

2016年01月12日 第1版作成

1. はじめに

がん診療において抗がん剤治療や中心静脈栄養のために「皮下埋め込み型中心静脈ポート（以下、「CVポート」と呼びます）」を留置することがしばしば行われています。このCVポートですが、留置した後に感染症や血栓症などの合併症がある一定の頻度で起こることが報告されています。そこで、CVポートの留置後合併症がどのくらい起きているかを調査し、合併症を減らすための対策を検討するためにこの研究を計画いたしました。

2. 対象となる患者さん

2012年1月から2015年12月までの期間に札幌医科大学附属病院消化器・免疫・リウマチ内科においてCVポートを留置された患者さん（120名）を対象としています。

3. この研究の内容

診療録（カルテ）から患者さんの性別や年齢、CVポートの留置日、留置後合併症の有無などの情報を収集し、研究に用います。研究は札幌医科大学消化器・免疫・リウマチ内科学講座で行います。なお、この研究を行うことで患者さんに費用などの負担は生じません。

4. 個人情報の取扱いについて

本研究では個人情報の保護のため、個人を特定できる情報は収集せず、データのデジタル化やデータファイルの暗号化などの厳格な対策を取っています。また、本研究の結果を公表（学会や論文等）する際には、患者さんを特定できる情報は一切含まれません。

5. この研究に診療データを提供したくない場合の措置について

2012年1月から2015年12月までの期間に札幌医科大学附属病院消化器・免疫・リウマチ内科においてCVポートを留置された患者さんの中で、この研究に診療情報を提供したくない方は、下記の問い合わせ先までご連絡ください。

6. 研究期間について

病院長の承認日から2017年3月31日までの期間を予定しています。

7. 医学上の貢献

本研究によってCVポートの留置後合併症を減らすための対策をたてることのできる可能性があります。

8. 問い合わせ先

研究責任者	札幌医科大学 消化器・免疫・リウマチ内科学講座	助教	山下 健太郎
研究分担者	札幌医科大学 消化器・免疫・リウマチ内科学講座	診療医	小野寺 馨
連絡先	電話：011-611-2111（内線 3211）		
対応時間	平日 9～17時（平日日中のみの対応となります）		